

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	工業デザイン実習 1	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位	開講時間	木曜1時限～	授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	明石 竜太郎		実務経験の有無・職種	有・陶芸家	
学習目的					
この科目を受講する学生は、工業製品の商品企画を行い、技術とノウハウを修得します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つプロダクトデザインの基礎的な実習から学び、素材、道具の正しい選び方、使い方を理解し、アイデア提案力を身に着けるようになる。プロダクトデザインの「商品企画」に関連するプロセスを理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、基礎から専門へ移行していく学生が、商品企画に取り組むことでプロダクトデザインをプロセスから学び、アイデアスケッチ・立体モデルの制作・図案の作成・提案モデルの制作・モデルの撮影・プレゼンボード制作・プレゼンテーションと提案型デザイン手法で、検証を重ねながら試作を制作し、プロダクトデザイナーの仕事を理解して、デザインの現場で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的に 素材 の選択、サイズの決定、カラーの選択、使用環境の選択を考慮して、商品提案ができるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、出題される課題のテーマを講師からの解説を受けます。素材の特性、道具の使い方、デザインの適正を理解し、企画提案する実習授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「工業デザインの企画提案力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「デザイン提案」を自分自身の実践し、プレゼンテーションできるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、学生に、実際にプロダクトデザインの企画提案をしてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。今後、現場で求められる専門的な知識と技術の修得を考えた前段階の実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	アクセサリーのデザイン実習①		前例の紹介 コンセプト立案		
2回	アクセサリーのデザイン実習②		樹脂造形のアイデアを練る		
3回	アクセサリーのデザイン実習③		授業計画（1回～15回）+3+E269:51		
4回	アクセサリーのデザイン実習④		原型を制作		
5回	アクセサリーのデザイン実習⑤		原型を制作		
6回	アクセサリーのデザイン実習⑥		彫など装飾を施す		
7回	アクセサリーのデザイン実習⑦		量産 乾燥する		
8回	アクセサリーのデザイン実習⑧		量産 乾燥する		
9回	アクセサリーのデザイン実習⑨		量産 乾燥する		
10回	アクセサリーのデザイン実習⑩		量産 乾燥する		
11回	アクセサリーのデザイン実習⑪		着色を装飾を施す		
12回	アクセサリーのデザイン実習⑫		着色を装飾を施す		
13回	アクセサリーのデザイン実習⑬		タグ パッケージをデザインする		
14回	アクセサリーのデザイン実習⑭		商品の撮影する プレゼンボード作成		
15回	作品講評		講評会 全体のまとめ		